

7. こんな場面で手助けになる先生用の便利機能

7-1. 活用例や操作方法を参照したい

スマイル8のアプリを授業で活用する際に、各教科での使い方やアプリ自体の操作方法を詳しく解説した資料が収録されています。

■ 操作手順

活用するアプリ：  教材  マニュアル



先生

操作1 カリキュラム・略案を確認する

先生メニューの【教材】をタップすると、教科・単元の一覧が表示されます。画面上部のプルダウン項目を使うと教科や学年を絞り込むこともできます。

各テーマの画面では【教科概要】【使い方】からアプリを使って各教科でどのようにタブレットを活用すればよいか、活用タイミングなどが参照できます。

【アプリ】ではそのまま授業で使える教材データが収録されています。

【略案】から文書形式の略案を開くことができます。学習のねらいやICT活用のポイント、授業の流れを参考ください。

収録されている各教材データは、自由に書き換えて使えます。授業に合わせてカスタマイズも可能です。



先生

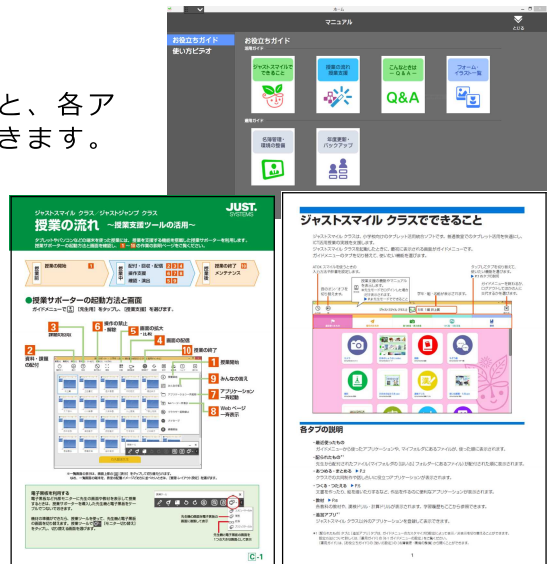
操作2 マニュアルで操作方法を調べる

先生メニューの【マニュアル】をタップすると、各アプリの操作方法がわかるマニュアルが参照できます。

写真付きで手順が掲載されていますので、詳しい操作方法が知りたいときにご活用ください。

【使い方ビデオ】をタップすると、主要なアプリの操作の流れを動画で確認することができます。

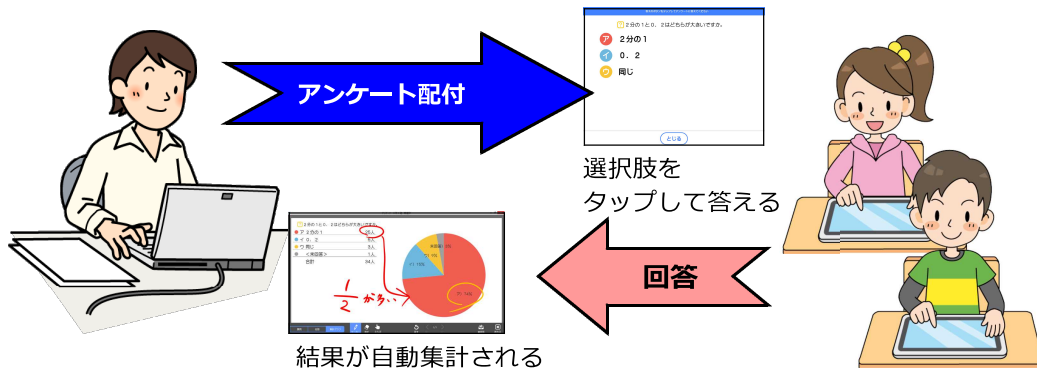
※閲覧にはインターネット接続が必要です。



7-2.簡単に意見調査をする

先生機と児童機とをつないで即席のアンケートができます。
授業の導入での意識調査や理解度チェックなどに活用できます。

■ アンケートの流れ



■ 操作手順

活用するアプリ： アンケート



操作1 アンケートを作成し、配信する

先生 アンケートは、先生用メニューの【アンケート】からはじめます。

① アンケートの形式を選ぶ

アンケートでは、以下の2種類を実施できます。

- ・普通のアンケート(設問と選択肢を決められる)
- ・プチアンケート(選択肢が固定されている)

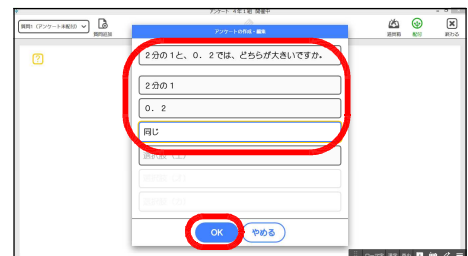


ここでは、**普通のアンケート**をタップし、実施する**年組**を選択して【OK】ボタンをタップします。

② アンケートを作って配る

質問内容と選択肢、資料画像を設定する画面が出るので、それぞれを入力して【OK】ボタンをタップすると回答画面が表示されます。

これでよければ、右上の【配信】をタップしてアンケートを開始します。



※アンケートをその場で実施せず保存しておくこともできます。



児童

操作2 アンケートに回答する

① 選択肢を選んでタップ

児童がスマイル8にログインしていると、先生が配付したアンケートが自動的に開くので、選択肢のボタンをタップして回答します。

児童はいつでも、ボタンを押し直して別の答えに変えることができます。



先生

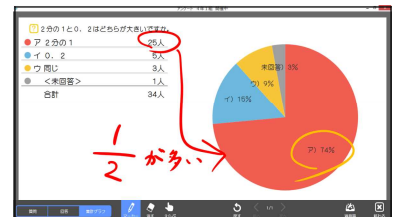
操作3 先生機で結果を確認し、まとめを行う

児童が回答した内容は、先生機の画面に結果表示されます。

① 回答の集計結果を確認する

画面左下の【集計グラフ】タブをタップして画面を切り替えると、回答結果がグラフで表示されます。

ペン機能で注目点や講評などを書き込んで示すこともできます。



② 児童の回答状況を確認する

【回答】タブではだれがどの答えを回答したか、一覧表示で確認することができます。

※この一覧は、**工具箱**からCSVで保存も可能です。

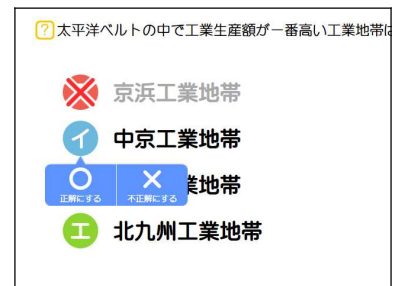
番号	名前	回答	内容
	中瀬久美さん	A	2分の1
	丸山和之さん	A	2分の1
	丹後哲宏さん	I	0.2
	亀井雅史さん	A	2分の1
	加藤晃子さん	A	2分の1
	原一校さん	A	2分の1

③ アンケート（クイズ）に正解を表示する

【質問】タブ画面に切り替えると、選択肢をタップして次のような操作ができます。

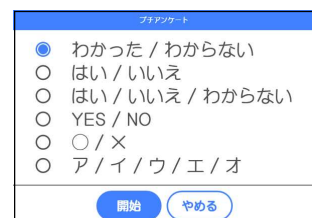
【正解にする】 児童機の回答画面で、選んだ選択肢に○が表示されます。

【不正解にする】 児童機の回答画面で選択肢に×が表示され、その選択肢が選べなくなります。



● One Point ● プチアンケートで素早く意見を集める方法

プチアンケートでは、あらかじめ用意されている選択肢のセットを選ぶだけで、すぐにアンケートを開始できます。



7-3.学級を越えて子供たちの活動を把握する

先生機と児童機との接続方法は2パターンがあり、「チャンネル」と呼んでいます。

通常の授業で児童が自身の年組でログインすれば自動的につながる「年組用チャンネル」と、クラブ活動や合同授業で、児童の年組がばらばらな状態でもこの場にいる全員がつながる「番号指定チャンネル」です。

先生が子どもの活動状況を確認する際に、授業の形式によって使い分けると便利です。

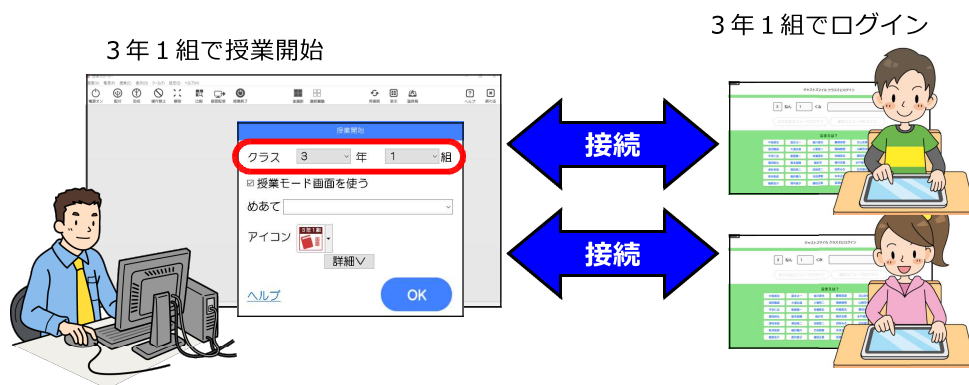


先生

操作1 チャンネルを選ぶ

① 年組用チャンネルを使う

通常のクラス内の授業では、先生は授業サポーターの授業開始画面の「クラス」で年組を指定するだけでその年組でログインした児童機と自動的につながります。



② 番号指定チャンネルを使う

クラス単位の枠組みではなく、複数組で合同授業や活動を行う場合、またクラス内で複数の教室に分かれて別々の活動を行うなどの場面では、番号指定チャンネルを利用します。

先生は授業サポーターの授業開始ダイアログの【詳細部分】で、「チャンネル番号を指定する」にチェックを入れ、チャンネル番号を指定します。

児童は、画面の上部にある黒い部分をタップすると、アシストボタンが表示されるのでアシストボタンの【チャンネル】ボタンをタップして、先生と同じチャンネル番号を選ぶと、先生機と接続されます。



※標準的な環境では年組用チャンネルを利用できるようになっていますが、導入設定によっては、番号指定チャンネルが標準になっている場合もあります。